

http://www.minamih.net/



12・11・3 (土)
南NEWS NO45

南の元副代表 佐藤博志先生 ご逝去 謹んで 哀悼の意を表します

矢上の寺田小(現緑が丘小)時代の同僚で22年前に同学年を担当した佐藤博志先生が10月27日土曜日にご逝去されました。享年63歳。
佐藤先生とはよく学び・よく遊んだ仲間でした。

5年生を担当したときの秋、学習発表会。児童文学“十三湖のぼば”を原作に佐藤先生が脚本を作り、劇中歌の作詞・作曲は私が任されました。
台本を何度も読み、井上ひろしさんの“米”に関する著作も読んで詞を書き、プロローグ・山場・フィナーレと3曲作りました。フィナーレの曲は明るいアップテンポの曲で、“日本の農業と食を守ろう”というテーマで書いた曲、佐藤先生も気に入ってくれました。

6年生を担当していた夏、運動会に向けて指導する為“御神楽”(民舞)を極めようと秋田・田沢湖のほりにあるわらび座の2泊3日の研修に参加しました。
3日目、舞台での発表会。研修の後、日本海周りで佐藤先生の元同僚の陶芸家の家を訪ねて1泊し、工房を見せていただいたり、陶芸家のお話を聴いてその生き方に感銘し、作品を購入したこと。2人とも筋肉痛で何日もトイレでしゃがめなかったことも覚えています。運動会の御神楽(初級・中級)もちろん大成功でした。

21年前には日野社会教育センター主催の“日中現代史を学ぶ旅12日間”中国東北地方(旧満州)の各地を訪ねて15年戦争を学ぶ旅に参加しました。何が真実かを見抜く力の大切さ、戦争の悲惨さ・中国の人々の優しさを学んだ旅でした。
中国から八王子の家族に毎朝、前日訪れて学んだことを手紙に書いて送っていました。その手紙と写真、学んだことをもとにして「ニーハオとリーベンクイツ・中国からの手紙」という題のスライドを作り、今も子どもたちと学習しています。佐藤先生にも視てもらいました。
鄧小平氏の別荘がある中国一のリゾート地で扉のないトイレに入ったこと。中国最後の夜、北京のホテルで2人がWベッドの部屋に入れられ、ツインの部屋に換えてもらったことも思い出です。

22年前には東京都の親善使節として派遣された象列車合唱団の公演旅行の荷物持ち兼カメラマンとして2人で随行し、ベトナム各地の人達とふれあい、「ベトナムのダーちゃん」早乙女勝元著のモデルになった女性にも会うことができました。東京都の親善使節ですから移動のバスの前には警察のバイクの先導がありました。公演の様子は日テレの“今日の出来事”で紹介されました。私たちが撮ったビデオが放映されたのです。

南の副代表としても力を発揮してくれたのです。合宿にも参加してくれました。
12ブロックや都のお手伝いもしてくれました。
公私ともに大変お世話になった佐藤先生。クラスの子どもたちに信頼され、慕われ、学校の職員全員から愛される人でした。
「佐藤さんみたいな人が校長になればいいんだよ」

と私はよく言っていました。他の先生たちも同じ気持ちだったと思います。

昨年の南J rユース監督松田さんに続いて大切な人、かけがえのない人、優しく強い人が先に逝ってしまいました。寂しくて、寂しくて、とっても悔しいです。

佐藤先生の作品、藍染めや切り絵、大切にします。
11年間の闘病生活、お疲れさまでした。ゆっくりとお休みください。
矢上 健一

市民体育大会少女Bブロックリーグ戦

10月28日(日)文化大グランド
雨天模様のため会場を由井三小から文化大グランドに変更、時程を遅らせて開始。
○1試合目 南八王子SC 1-1 (2PK1) 南大沢一A
得点;片寄まりあさん

○試合のめあて2つ:
1. 前線と中盤のバランスのとれた動きとプレッシャー。
2. 足もとへのパスではなくスペースへ出して相手の背後をつく。
4-2-1の布陣で始めたが、トップ下の2人のバランスが悪いのと1トップがずるずる下がった状態で、相手の得意なパス回しを許してしまう。この悪い状態を修正させて互角に攻めあえるようになった。それからは一進一退の展開が続き何本かシュートまで持ち込めたが前半は0-0で終了。
後半も相手にフリーマンを作らせないように指示しながら、プレッシャーをかけ続けるが5分すぎにゴール前のごちゃごちゃから不運な1点を先取されてしまう。しかしモチベーションも下がらず果敢に攻め続け、15分に相手ゴール前でやはりごちゃごちゃから1点を取り同点。その後も攻め続けるが得点にならずPK戦になる。
この試合は意欲、運動量とも相手を上回りPKの前には勝ち越すチャンスも何回かあり、リーグ戦で負けた相手だがこれからは自信を持って試合に臨んでくれると期待したい。
みんなよく走りましたね。
PK戦 南八王子 優○ 美彩○ 捺子×
南大沢 × ○ ×



○2試合目 南八王子SC 10-3 シルクロードSC
得点者;片寄優④さん、小沢美彩さん③、大塚捺子さん②、村田莉菜さん①
○試合のめあて:自分のプレーをする、1対1で負けない。
1試合目と続けての試合だったので、同じ4-2-1だがメンバーを大はばに入れ替えてスタート。簡単に4点取れたのは良いとしても、3失点の取られ方が悪い。ボールを保持して自分のプレーをするというめあては忘れ去られ、やみくもに相手のいる方へドリブルを仕掛け取られてしまう、取られても取り返しに追いつけないのでフリーでシュートを打たせてしまう。そのパターンで3失点。前半終了時4-3。
後半はひとり一人が集中力をもってプレーし無意味な失点をしなかった。こういう相手にはいつも練習していることを試すようにと試合後に話をした。
b y 内田コーチ